

Rotary International District 2630 2018-2019

月信 MONTHLY REPORT

ガバナー

Rotary



インスピレーションに
なろう

国際ロータリー 第2630地区
2018-2019年度
ガバナー 木村 静之

3
March
2019
Vol.9



花筏150秒 ~日中友好庭園の春~

CONTENTS

- 水と衛生月間P2
2018-19年度 ガバナー 木村 静之
- 会員基盤向上についてP3
会員増強部門委員会委員長 山本 和央
- 青少年交換事業についてP4
青少年交換部門委員会委員長 永尾 壽啓
- 会員増強セミナー開催P5
会員増強部門委員会
開催地/三重県・岐阜県
- 活動事業報告 P6-8
青少年交換部門委員会報告
ポリオ撲滅キャンペーンと募金活動
美濃ロータリークラブ 国際奉仕委員長 西村 進
新日本フィルハーモニー交響楽団による高校生音楽指導及び披露コンサート
上野東ロータリークラブ 奉仕部門 青少年育成委員会
次期米山奨学生面接選考会
米山記念奨学部門委員会委員長 村瀬 祐治
- ガバナーノミネー決定宣言 P9
- 1月度出席報告 P10
- 会員動静報告 P11
- 国際協議会報告 P12
ガバナーエレクト 辻 正敏
各事務所の案内

第2630地区のHPは
スマートフォンでも
ご覧いただけます





水と衛生月間

2018-19年度 ガバナー

木村 静之

今月は「水と衛生」月間です。私は先月(2019年2月) タイを訪れ、グローバル補助金事業の成果を見てまいりました。当地区は2016-17年度から「水と衛生」分野のプロジェクトをタイで実施しています。タイ 3330 地区のクラビ (Krabi) という地域で、3つの学校に浄水設備を寄贈する事業です。現地では、クラビ RC が資金を拠出するばかりではなく、メンバーが学校との調整や設備の施工に尽力しました。すでに2つの学校に設置が終わり、2019年2月には建屋を造っていた学校にも浄水設備を設置し、これで予定していた全部の学校に設置ができました。蛇口から、飲める水、きれいな水が出るということに、子どもたちはとても感激しています。タイでは、大都市の多くの学校や施設にこのような浄水設備がすでに設置されていますが、地方の学校はまだ取り残されているようです。日本では、我々の地域があまりにも豊かな水資源に恵まれているので、きれいな水のありがたさを忘れていきます。しかし、地球規模で見ると、清潔な水が飲めない地域がまだ多くあります。清潔な水さえあれば、疾病の予防になり、子供の死亡率が格段に低くなります。世界のいろいろな地域で「水と衛生」は最重要問題です。

なお今回、浄水設備の設置をしましたが、最後の1校は単に機械を設置しただけではありません。浄水装置は機械ですからメンテナンスが必要です。メンテナンスを行うのに今

後継続的に費用がかかります。そのような費用の捻出方法として、地域の住民にもこの「きれいな水」を提供(販売)する仕組みを作ることとしました。そのような仕組みを整えることもプロジェクトの重要な要素です。こうして初めて「持続可能性がある」事業と言えるのです。

来月号で、地区奉仕プロジェクト部門の宮崎弘夫委員長から、写真付きで詳細に報告していただきます。

ロータリーは、6つの重点分野の一つとして「水と衛生」を挙げていますが、「ただ井戸を掘って終わり」ではなく、きれいな水や衛生設備を活用して長期的な地域発展が実現できるよう、包括的な支援を行うことが推奨されています。

そして、我々自身も「水と衛生」について、もう一度足元を見つめなおすことが大切であると思います。我が国は地下資源が乏しい代わりに豊かな水資源を利用して産業を発展させてきました。他方で、高度成長期には廃棄物や汚染物質を排出することにより深刻な公害を発生させ、環境への悪影響を体験しました。いま我々は、水資源の汚染を防ぎ、そして、河川を守り、森林を育て、生物の生態系を守り、生物の多様性を守り、のちの世代のために健康な国土、健康な地球を残さなければなりません。そのためにロータリーは何ができるか考えたいと思います。

会員基盤向上について



会員増強部門委員会委員長 山本 和央

会員増強（増強維持・退会防止）に取り組んでおられる皆様に深甚なる敬意を表しますと共に、各クラブの益々のご発展を心よりお祈りいたします。

さて、新しい年がスタートしました。年末年始の繁忙期を乗り越え、一息という時期だろう。だが、気をゆるめている暇はない。国家的イベントが相次ぐ今年からの数年間は、次の時代に向けた発展のステップボードになる時期だからであります。

最近の世界におけるロータリーの会員数の推移を見ますと、2002年までは約6万人以上増えていますが、それ以降は減少傾向にあります。日本のクラブの5年間の推移について見ますと、クラブ数は増えていますが、会員数は毎年減少傾向にあります。

この頃より、クラブの小型化が進行します。国際ロータリー理事会は、小型化により、弱体化したクラブを強化する必要が迫られます。しかし、女性会員の数は増える傾向にあるということが分かります。

その後、21世紀に入り、120万を超えたところではほぼ横ばいのままで推移します。この会員数の変化に応じて、その時々国際ロータリーの考え方＝国際ロータリーの戦略が変化してきております。1996年2月国際ロータリー理事会は、地区リーダーシッププラン（DLP）を承認します（クラブの小型化）。2004年11月、5つの常任委員会をクラブの基本的委員会を組織とするクラブリーダーシッププラン（CLP）を承認します。DLPとCLPは、如何にすれば地区/クラブを強化できるかという、謂わば、地区/クラブレベルにおける組織管理の方法論でした。21世紀に入り明らかに潮目が変わります。世界の会員総数は横ばいのままですが、会員数が増えている地域と、減っている地域がはっきりする所謂二極化現象が生じます。例えば日本以外のアジア諸国、特にインドは増加しております。一方、日本、アメリカはコンスタントに減少しています。しかも、会員減少が進んでいる地域で、クラブ数も増えない地域は更にクラブの小型化が進行してきます。

今、現実には、世界各地で、地区の再編または合併を巡って、深刻な問題もあります。日

本では東北地方のいくつかの地区が、今現在の基準の1100名の会員数を確保できるかで、地区の再編や合併をしなくてはならないようになるかもしれない深刻な状況になっています。各クラブを存続するために、国際ロータリーは会員基盤の増加及び維持を必要としています。

では、地域一番の魅力あるクラブにするにはどうすればよいのでしょうか。それぞれお考えがあるかと思いますが、やはり、地域に密着した活動を続けていくことが会員増強につながると思います。地域が無ければ地区はありません、地区がなければ国際ロータリーもありません。やはり、根幹（地域）が大事なのではないのでしょうか。

クラブが所在する地域の人々に対し、ロータリーをよく知っていただく広報や活動を、知恵を出し合い工夫しましょう。ロータリーは広く「良いこと」をしているのに、現実の問題として、地域の人々にロータリーがどの程度認知されているのか、肌寒いところがあります。ロータリアンが思っている以上に、あまり知られていないのではないのでしょうか。会員が増えない理由の一つでもあります。「良いこと」をすることは目立ってもいいと思うのです。ロータリーの活動が知られていないことは、実は人々にとってロータリーは存在しないことにもなるのです。

どのような団体・組織でも会員数が減ると、例外なくパワーが減ってしまい、元気がありません。仲間が減るのは大変寂しいことです。財政面からは、行事一つをとっても徐々に制約を受けています。

会員の皆様には悪循環に陥る前に現状を理解していただいて、知恵を持ち寄り、新入会員増と退会者減に取り組んでいただき、会員全員が増強委員であるとの認識のもと、元気なクラブを地区全体で作しましょう。

時計の針はスピードを緩めずに回ります。ロータリーの活動もペースを落とすことはありません。手を休めるよりもむしろ活動に拍車をかけながら、実現に邁進して行こうではありませんか。

完

青少年交換事業について



月信担当の方より寄稿依頼を受けた時が、2019年1月の春期受入学生が来日する時期であり、今回はこの寄稿の中で来日学生の受入手続きについて話をしたいと思います。

受入準備の対応は、クラブ内の青少年奉仕委員会の委員長が中心とならなければなりません。春期受入と夏期受入の2形態ありますが、行う事は同じで着手する時期が早いか遅いかの違いとなります。

それでは、委員会の最初の仕事として行うことは、受入高校の決定です。派遣学生が在籍する高校に依頼するのが最優先です。しかし私は、それにこだわることなく最適な高校を選考することを考慮すべきだと思います。

例えば、既に受入学生が在籍する、海外留学担当の先生がお見えになる、海外高校と交流があるというところがポイントのような気がします。次に、ホストファミリーです。4軒は準備できたほうが安心できるかと思えます。4軒ともロータリアンである必要はありません。特に第1ホストファミリーは期間が短くても留学経験者がお見えになるご家庭がいいと思います。

次に、具体的に受入高校とクラブ内での手続きは、以下のように対応をお願いします。

1. 地区から届いた、受入学生の書類一式を高校に持参して、就学許可を依頼する。
2. 就学許可を取得したら、クラブ関係者(会長、幹事、委員会)一同で校長先生に表敬訪問する。
3. 実務者レベルの打合せ会議を行う。(何年生に編入、担任先生、留学生担当先生、制服・体操服・Yシャツなどのリユーズ品確認、教科書・デイバッグ・体育館シューズなどの購入品確認)
4. 来日直前に改めて、顔合わせ日と登校日と時間の決定等の最終確認を行う。

クラブ内の準備としては、来日前までに

1. ホストファミリー、カウンセラーの選定。
2. 地区青少年交換委員会へ関係書類の提出。
3. ホストファミリー会を実施してホストファミリー(特に奥様)とクラブ関係者との意識統一。
4. 来日学生、先方スポンサークラブへ自クラブ、ホストファミリー紹介メールの送信。
5. セントレア空港で使用するウェルカムカードの作成。



青少年交換部門委員会委員長 永尾 壽啓

来日学生が到着すると

1. クラブ関係者(会長、幹事、委員会、カウンセラー、第1HF)でウェルカムカードを持って出迎え、記念撮影。
2. 到着日はそのままホストファミリー宅に直帰して簡単なお祝い。(パスポート、在留カード、お金、帰りの航空券を確認)
3. 翌日、市役所に出向き、転入届の提出と国民保険証の作成。(無収入個人世帯)
4. 学生証用の写真撮影、学校で使用する備品等(下履き)の購入。
5. クラブ例会で会員への挨拶と事務局に貴重品の預け入れ。(パスポート、お金)
6. 受入高校への挨拶と学生証の発行依頼。
7. 公共交通機関を使用する場合の定期券の購入。
8. 通学手順の確認と初登校の同伴。
9. 携帯電話の確認、日本で使用できるようになっているかどうか等。(携帯電話の対応方法は色々ありますのでここでは割愛します)

このような形で、慌ただしく、来日当日を迎え、受入学生が学校に初登校する日がやってくるよといった感じです。

実は、春期受入はいいことが多くあります。第1に、これから出国する日本の学生には非常にいい刺激になります。受入学生が自分の家にホームステイすることになれば、自分の英語力の確認、留学先での自分の立ち回り方、意思の表現の仕方などが事前に吸収できます。(派遣するご両親が一番安心できます)

今回は、青少年交換事業の受入について、具体的にホストクラブとなるクラブ内での事務手続きを話させていただきました。大変と言えば大変、しかしなんだ!こんな事務手続きだけでOKなのかと言えばOKです。その後の学生の成長は学生次第です。強い意志があれば自ら語学・習慣・文化の習得に励むし、旅行気分で作ってくるのであればそれまでの事。(地区としての指導は行います)しかし両者とも日本という国を選択して留学を志し、日本で1年間の生活を行い、最終的には自国と日本の友好の礎となり、世界平和の懸け橋となる人材を育て上げると言う目的には到着できると信じています。1月に4人、8月にも4人の受入、そして7名の学生が海外に旅立っていきます。どうぞこの事業に関与が有る無し関係なくロータリアンの皆様方には、内外の学生に温かい声援を送っていただきたいと思います。



会員増強セミナー開催

会員増強部門委員会

開催地 三重県

1月12日（土）ホテルグリーンパーク津で10時30分より開催されました。

木村静之ガバナー、田山雅敏直前ガバナー、劔田廣喜地区研修リーダー、カウンセラー桑月心パストガバナーはじめ、三重県グループガバナー補佐、地区研修委員の皆様、各クラブ会長、幹事、会員増強委員長等総勢110余名ほど、年始早々ご多忙の中、ご参加下さいました。

山本和央会員増強委員長の開会あいさつから始まり、劔田地区研修リーダーより、「ロータリーの魅力」の感じ方についてご挨拶をいただき、木村ガバナーより「現況報告と会員増強について」と題して講演をいただきました。年度として残すところ後の半年間、クラブの強化として、会員1名の純増を達成する。既存会員と新会員の維持率を改善する。クラブの会員維持率を1ポイント上げる。女性会員1名の純増を達成する。等々、是非、頑張ってもらいたいと話されました。

その後、田山直前ガバナーの基調講演、演題：「入会促進と退会防止」について、会員増強並びに退会の推移を資料に基づき詳細な説明がありました。会員増強は誰がやるのではなく、メンバー全員が行うものである。と強調されながら所期の目標に向けて邁進しましょうと熱く語られました。

その後、意見交換会第一部「入会促進の方策」、第二部「退会防止の方策」に移り、増強方法、情報交換、退会防止の方法などの意見交換が、限られた時間ではありましたが、活発に行われました。最後にカウンセラー桑月心パストガバナーのまとめとしての挨拶並びに堀場巖アドバイザーの閉会の言葉によってセミナーを終了いたしました。

会員の皆様には心より厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。

開催地 岐阜県

1月19日（土）岐阜市の岐阜グランドホテルに於いて、地区役員・クラブ会長・幹事・会員増強委員長の総勢140余名が参加し、「会員増強セミナー」が開催されました。

はじめに、山本和央会員増強委員長より、会員増強の重要性に鑑み、真の会員増強とは何か、魅力あるロータリーを作るためにはどうしたら良いか、これより会員増強の方策を考えるための一助となるよう本日のセミナーを役立ててほしいとの開会の挨拶がありました。

地区研修委員会の河野等研修委員からの挨拶をいただく中で、「決してあきらめることなく地道な活動を行うことが重要である」旨のお話をいただきました。

その後、木村ガバナーの講演「演題：現況報告と会員増強について」、引き続き、山本和央会員増強委員長より基調講演「演題：入会促進と退会防止」についてをそれぞれいただきました。

昼食を挟んで午後のプログラムでは、意見交換会を開催し、木村ガバナーを中心に忌憚なく質疑応答及び討議が進められました。

ガバナー方針である少なくとも各クラブ会員1名の会員純増を達成し、退会防止・維持に努め、少なくとも女性会員の割合を高める。少なくとも1つか2つの新クラブを結成する等の目標達成に、気の緩むことなくロータリアン一人ひとりが会員増強に向け、進んで行動してほしいと強調されました。

おわりに、カウンセラー桑月心パストガバナーからは、木村ガバナーの並々ならぬ熱意を真摯に受け止め、地区目標に向けて頑張ってもらおうと激励され、堀場巖アドバイザーの閉会の言葉でセミナーの幕を閉めさせていただきました。

茲に、大変有意義なセミナーとなりましたことに感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。

青少年交換部門委員会報告

2019年1月に春期来日した4人の学生を含めた春期受入・夏期受入・夏期派遣学生オリエンテーションを実施しました。

夏期受入学生の日本語の上達に驚き、春期受入学生の初スピーチが全て日本語であったことに更に驚き、派遣候補学生の立派なPPTにも驚きました。今年はずっと違う1年の始まりかもしれません。

みんな頑張ってください。



ポリオ撲滅キャンペーンと募金活動

美濃ロータリークラブ 国際奉仕委員長 西村 進

年末12月26日午前10時より美濃市道の駅「にわか茶屋」に於いて、ポリオ撲滅キャンペーンと募金活動を行いました。

この日は、美濃ロータリークラブがお世話している、武義高等学校インターアクトクラブが年末恒例、自作のミニ門松をユニセフ寄付を目的に販売しました。購入目的で、多くの市民が集う、良い機会です。





ロータリアンは20名、ポリオ説明のチラシを自作して配布理解を求めました。募金も協力していただきました。インターアクトクラブからも、売り上げの一部をポリオに募金してくれました。

ポリオという言葉もご存じない方が多く、今回寒い中で実施した意義も感じる事ができ良い活動になったと思います。

新日本フィルハーモニー交響楽団による高校生音楽指導及び披露コンサート

上野東ロータリークラブ 奉仕部門 青少年育成委員会

吉鶴洋一氏を中心とした新日本フィルハーモニー交響楽団が地元の県立上野高等学校吹奏楽部に毎年2日間にわたり高校生に楽器演奏等の指導を行い、音楽を通しての青少年育成を図る。初日は楽団員の方々が高校生たちに音楽指導を行い2日目は指導を受けた高校生たちがコンサートを開催しその腕前を披露する。本年度は、2月2日～3日に開催され、披露コンサートは今年1月4日に開庁したばかりの伊賀市新庁舎で開催され、岡本栄市長のお祝いの挨拶でコンサートの幕が開き、高校生たちの真剣な眼差しによる演奏に会場に詰めかけた約200人の市民の方々の盛大な拍手により幕を閉じた。クラブ創立30周年記念事業として始まったこの奉仕活動は今年で8年目を迎える。



次期米山奨学生面接選考会

米山記念奨学部門委員会委員長 村瀬 祐治

●次期米山奨学生面接選考会開催

米山奨学生面接選考会を1月に2日間開催しまして、応募者は30名で13名を選考いたしました。面接基準は、『米山奨学事業の使命は、将来、日本と母国との懸け橋となる優秀な人材を育成することであるためその資質がある留学生を、全国共通の評価項目にしたがって、総合的に判断し、公平に選考いたしました。』

<学業> 学問に対する研究の目的-目標を明確で、研鑽を重ねてその成果をあげる努力をしている。

<異文化理解> 異なる文化・習慣などを理解する努力ができる。

<コミュニケーション能力> 言語のみならず人間関係における円滑なコミュニケーションを築き自己の確立と共に他者を受入れる柔軟な姿勢をもつ方。

●2019年4月からの米山奨学生人数は、2年継続奨学生を合わせて16名です。国籍別の内訳は（中国籍—6名）（ベトナム籍—4名）以下各1名（ネパール）・（スリランカ）・（キルギス）・（エジプト）・（韓国）・（モンゴル）です。

大学名は、三重大学・四日市大学・鈴鹿大学・岐阜大学・中部学院大学・中京大学・岐阜経済大学

●事業推進のための主な取組

- ①6月に「米山奨学生募集説明会」を各大学の留学生担当の職員の皆様に集まって頂き、世話クラブ制度など米山奨学の目的について説明と意見交流を開催いたしました。（初めての試み）特に、募集国はアジア圏であるとの認識の違いがあり、今年はエジプトを始めアジア圏以外からも応募がありました。
- ②11月に「事前次期世話クラブ説明会」を行い、カウンセラー決定など準備して頂くために行いました、次期奨学生16名の世話クラブ配属もスムーズに行うことができました。
- ③カウンセラーを初めて受けて頂く方も多くいらっしゃいますので、4月21日入学式の前にカウンセラー研修会を開催して米山奨学事業の目的などをご理解頂きスムーズな運営できるようにいたします。



面接風景

ガバナーノミニー決定宣言

1 2020-21 年度国際ロータリー第 2630 地区ガバナーノミニーの選出について

地区指名委員会において、**剣田 廣喜 君**（高山中央ロータリークラブ所属）が指名されました。また、対立候補者がなく、国際ロータリー細則 14.020.（ガバナーの指名手続）に基づき、同君を 2020-21 年度ガバナーノミニーと決定し、ここに宣言いたします。

2 2021-22 年度国際ロータリー第 2630 地区ガバナーノミニーの選出について

地区指名委員会において、**浦田 幸一 君**（伊勢中央ロータリークラブ所属）が指名されました。また、対立候補者がなく、国際ロータリー細則 14.020.（ガバナーの指名手続）に基づき、同君を 2021-22 年度ガバナーノミニーと決定し、ここに宣言いたします。同君の今期中の肩書は、国際ロータリー細則 14.010. に基づき「ガバナーノミニー・デジグネート」であります。

2019 年 2 月 4 日

国際ロータリー第 2630 地区
ガバナー **木村 静之**

2020-21 年度ガバナーノミニー



会員名 **けんだ ひろよし 剣田 廣喜**（高山中央ロータリークラブ）
 生年月日 1949 年 4 月 18 日
 職業分類 製紙原料販売
 事業所 株式会社 高橋商店
 学歴 名古屋学院大学卒業
 公職 岐阜県計量協会 会長
 岐阜県計量証明協会 会長
 社会福祉法人 清徳会 理事

ロータリー歴	1991 年	高山中央ロータリークラブ 入会	2011～12 年	濃飛分区ガバナー補佐
	1994～95 年	クラブ幹事	2016～17 年	地区ガバナー
	2000～01 年	クラブ会長	2018 年～	RI 第 2 ゾーンロータリー コーディネーター補佐
	2007～09 年	地区拡大増強委員会委員長	2018 年～	RIJYEM 理事
	2010～11 年	地区幹事		ベネファクター ポールハリスフェロー 米山功労者マルチプル

2021-22 年度ガバナーノミニー



会員名 **うらた こういち 浦田 幸一**（伊勢中央ロータリークラブ）
 生年月日 1953 年 10 月 22 日
 職業分類 生花卸
 事業所 F・CON (株)大阪鶴見花き取引機構
 学歴 大阪芸術大学卒業
 公職 1995 年 三重県花商組合連合会 副会長
 1996 年 日本生花商協会 理事
 1998 年 三重県警察本部生活安全課青少年指導委員
 2004 年 フラワーシップ協議会（現フジテレビフラワーネット）
 全国加盟店会 副代表

ロータリー歴	1992 年	伊勢中央ロータリークラブ 入会	2017 年～	地区職業奉仕委員会委員
	2010～11 年	クラブ幹事	2019～20 年	伊勢・鳥羽・志摩グループ ガバナー補佐
	2013～14 年	クラブ会長		マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

国際ロータリー 第2630地区 出席報告

2019年1月分

グループ	クラブ	出席率	例会数	会 員 数				期首からの増減	
				期首	うち女性	月末	うち女性	増	減
桑 名 員	桑 名	96.02	3	41	0	42	0	1	0
	桑 名 西	86.48	3	35	0	37	0	2	0
	桑 名 中央	82.41	3	27	1	31	1	4	0
	桑 名 北	98.96	3	32	8	32	8	0	0
	グループ計(4)	90.97		135	9	142	9	7	0
四 日 市	四 日 市	96.60	4	92	0	97	0	8	3
	四 日 市 北	80.95	4	22	5	23	5	1	0
	四 日 市 西	97.62	3	68	4	70	4	3	1
	四 日 市 南	85.52	4	37	3	39	4	2	0
	四 日 市 東	100.00	3	39	1	38	1	0	1
	グループ計(5)	92.14		258	13	267	14	14	5
鈴 鹿 亀 山	鈴 鹿	72.69	4	66	8	67	9	4	3
	鈴 鹿 西	72.07	3	40	7	40	7	1	1
	鈴 鹿 ベイ	77.22	3	12	0	12	0	0	0
	亀 山	96.30	3	14	0	13	0	0	1
	鈴鹿シティ	76.01	4	64	4	68	4	5	1
グループ計(5)	78.86		196	19	200	20	10	6	
中 勢 ・ 伊 賀	津	92.42	4	65	0	68	0	4	1
	上 野	97.97	4	40	1	41	2	3	2
	名 張	99.05	3	36	2	36	2	1	1
	津 南	89.74	3	49	2	52	2	3	0
	津 北	87.88	4	40	3	43	4	5	2
	上 野 東	96.66	4	40	3	40	3	0	0
	久 居	88.79	3	27	1	27	1	0	0
	名張中央	75.96	3	22	1	23	1	1	0
	グループ計(8)	91.06		319	13	330	15	17	6
松 阪 ・ 東 紀 州	松 阪	88.43	4	78	0	80	0	2	0
	松 阪 東	78.16	3	56	11	58	11	2	0
	熊 野	70.00	5	35	5	36	5	1	0
	尾 鷲	77.20	4	12	2	14	2	2	0
	松 阪 山 桜	82.46	3	38	4	38	4	1	1
	グループ計(5)	79.25		219	22	226	22	8	1
伊 勢 ・ 鳥 羽 ・ 志 摩	伊 勢	88.91	4	61	0	62	0	1	0
	鳥 羽	74.43	4	30	4	32	4	2	0
	伊 勢 南	90.24	4	43	0	43	0	1	1
	志 摩	76.91	4	48	11	49	12	2	1
	伊 勢 中央	92.89	3	50	0	49	0	0	1
	伊 勢 度 会	95.53	3	15	4	15	4	0	0
	グループ計(6)	86.49		247	19	250	20	6	3
三重県合計 (33)	86.74		1,374	95	1,415	100	62	21	
地区合計 (75)	84.94		3,131	156	3,220	169	147	58	

■ 2018年1月(前年度)出席報告

	出席率	期首	月末	うち女性	増減
岐阜県合計 (43)	83.46	1,747	1,797	62	50
三重県合計 (33)	85.33	1,339	1,396	98	57
地区合計 (76)	84.27	3,086	3,193	160	107

(注) グループ、県、地区の出席率は全てクラブ数で計算した。

グループ	クラブ	出席率	例会数	会 員 数				期首からの増減	
				期首	うち女性	月末	うち女性	増	減
岐 阜 A	岐 阜	91.15	3	83	0	84	0	5	4
	岐 阜 西	79.20	3	52	0	53	0	1	0
	岐阜長良川	88.77	3	49	0	50	0	1	0
	岐 阜 北	90.72	4	30	1	35	3	5	0
	岐 阜 中	84.52	3	26	1	28	1	2	0
	グループ計(5)	86.87		240	2	250	4	14	4
岐 阜 B	岐 阜 南	80.94	4	100	8	98	9	2	4
	岐 阜 東	83.60	4	48	1	50	2	4	2
	岐阜東南	80.99	3	38	0	38	0	1	1
	岐阜加納	83.12	3	70	2	76	3	6	0
	岐阜エトス	70.32	3	20	2	20	2	0	0
	岐 阜 城	96.08	4	15	0	16	0	1	0
グループ計(6)	82.51		291	13	298	16	14	7	
岐 阜 西 濃	大 垣	76.48	4	85	0	89	2	4	0
	大 垣 西	89.70	4	75	0	77	0	4	2
	本 巢	88.60	3	30	0	29	0	0	1
	羽 島	89.92	4	28	4	30	4	2	0
	不 破	92.47	3	30	0	31	0	1	0
	大 垣 中	89.69	2	42	0	49	0	7	0
	大垣センチュリー	76.76	3	49	1	54	2	5	0
	岐阜淡墨	93.10	4	15	1	14	1	0	1
	岐阜サンリバー	94.45	2	20	4	19	3	0	1
グループ計(9)	87.91		374	10	392	12	23	5	
岐 阜 東 濃	多 治 見	79.71	4	49	3	48	3	2	3
	中 津 川	89.09	5	74	2	73	2	1	2
	瑞 浪	74.22	3	57	1	57	1	0	0
	恵 那	78.12	2	45	1	50	1	7	2
	土 岐	96.67	3	41	1	41	1	0	0
	多 治 見 西	82.75	4	33	4	33	4	2	2
	中津川センター	75.00	2	48	1	49	1	2	1
	多治見リバーサイド	85.36	4	40	1	41	1	1	0
	グループ計(8)	82.62		387	14	392	14	15	10
	東 海 北 陸 道	美 濃	78.13	4	27	0	23	0	0
各 務 原		64.79	4	24	0	23	0	1	2
関		100.00	3	50	2	49	2	0	1
郡上八幡		90.60	3	40	0	40	0	0	0
関 中 央		91.67	2	32	0	32	0	2	2
郡上長良川		70.46	4	33	6	33	6	1	1
各務原中央		58.21	4	27	2	27	2	0	0
各務原かかみの		77.50	4	10	2	10	2	0	0
グループ計(8)		78.92		243	12	237	12	4	10
濃 飛		高 山	88.29	3	41	0	44	0	3
	下 呂	74.24	3	22	0	22	0	0	0
	高 山 西	82.50	3	40	0	40	0	1	1
	美濃加茂	85.28	3	37	7	43	7	6	0
	可 児	80.00	3	27	0	31	1	4	0
	高 山 中央	84.76	3	55	3	56	3	1	0
グループ計(6)	82.51		222	10	236	11	15	1	
岐阜県合計 (42)	83.52		1,757	61	1,805	69	85	37	

2019年1月分

入会会員

桑名中央 RC  松尾隆史 2019.1.12 入会 保険代理店業	桑名中央 RC  山上 努 2019.1.12 入会 タイヤ販売	四日市北 RC  三谷征弘 2019.1.8 入会 建築業	四日市西 RC  小林賢行 2019.1.11 入会 塗装業	鈴鹿 RC  荻田愛己 2019.1.9 入会 食料品製造	鈴鹿シティ RC  伊藤久信 2019.1.9 入会 自動車部品	鈴鹿シティ RC  田中克幸 2019.1.23 入会 地方銀行	上野 RC  上島米美子 2019.1.8 入会 不動産業	上野 RC  松川英一 2019.1.8 入会 ホテル業	津北 RC  赤塚耕一 2019.1.17 入会 植木配布
--	---	--	---	--	---	--	--	---	--

津北 RC  杉本郁夫 2019.1.17 入会 社会福祉法人	伊勢南 RC  藤村隆秀 2019.1.10 入会 精油製品配布	志摩 RC  千原眞弓 2019.1.8 入会 日本料理	大垣西 RC  佐々木滋史 2019.1.15 入会 土木業	羽島 RC  木寺祐樹 2019.1.5 入会 塗装業	羽島 RC  立川 靖 2019.1.5 入会 司法書士	多治見 RC  樋口昭二 2019.1.23 入会 普通銀行	中津川 RC  成瀬元伸 2019.1.17 入会 信用金庫	多治見西 RC  藤田聖典 2019.1.10 入会 弁護士	多治見リバーサイド RC  鈴木秀敏 2019.1.8 入会 自動車板金
--	---	---	---	--	---	--	---	---	---

高山西 RC  蒲 優祐 2019.1.12 入会 デザイン	可児 RC  大岩由希子 2019.1.10 入会 飲食業	可児 RC  村上孝広 2019.1.10 入会 人材派遣業	高山中央 RC  下畑旬平 2019.1.21 入会 自動車販売業
---	--	---	--

逝去会員 謹んでご冥福をお祈り申し上げます	
津北 RC  伊藤友治 1969.10. 2 入会 2019. 1.10 逝去 1993-94 年度会長、米山功 労者マルチプル、マルチ プル・ボール・ハリス・フェ ロー	岐阜 RC  岡本 茂 1955. 4.22 入会 2019. 1.26 逝去 1970-71 年度会長、1988-89 年度 地区ガバナー、第7 回米山功労者マルチプル、 マルチプル・ボール・ハリ ス・フェロー



【表紙】 花筏 150秒 ～日中友好庭園の春～

撮影者 小林 淳

春の日中友好庭園で、池の水面に桜の花が散り、花筏となっ
た様子を長時間露光で撮影しました。

国際協議会報告

ガバナーエレクト 辻正敏



ガバナーエレクト 辻正敏夫妻とRI会長エレクト マーク・ダニエル・マローニー夫妻

2019年国際協議会(米国・サンディエゴ)は今年も約540の国・地域からガバナーエレクトとそのパートナーが招かれ、1月13日(日)の歓迎レセプションで幕を開けました。

翌14日(月)朝一番の本会議で、2019-2020年度国際ロータリー会長のマーク・ダニエル・マローニーさんは「ロータリーは世界をつなぐ(ROTARY CONNECTS THE WORLD)」とのテーマを発表しました。

これは昨年出された「ビジョン声明」を踏まえたもので、会員減少が著しかった2017-2018年度を憂い、会員増強も含めた「GROW ROTARY」を掲げ、「家族も良い意味で巻き込んだ活動の中から、ロータリーのリーダーシップをより発揮し易い道を開きましょう」「家族、仕事、ロータリーのバランスを考えましょう」そして「人道的な事業に重点を置く以上、国連との関わりも忘れてはなりません」と述べました。また今回、協議会史上初めて、正式にローターアクターを招きました。これは若い人たちがロータリー活動に参画することでロータリー自身の持続性を維持していこうとするものです。事務総長のジョン・ヒューコさんが例えに挙げた「アップルになりたいですか、コダックになりたいですか」との問い掛けは、コダックにならないよう革新と柔軟性を常に持つことを示唆し、世界でよいことをしようと呼びかけています。

トウモロコシの生産地で有名なアラバマ出身のマローニーさん。弁護士としてご夫妻で全米を飛び回る中、年に一度の地元のポップコーン祭りには司会をするために必ず帰郷するそうです。31歳でガバナーとなり、10年前に国際ロータリー会長を目指そうと決意したと聞きます。今回の協議会の内容も6年前から温められていたそうです。底抜けに明るいマローニーさんは、ロータリーに元気を与えてくれるでしょう。

私も国際ロータリー第2630地区内が明るくなるよう、いろいろな色の花が咲くよう「総天然色」をテーマにしようと考えています。詳しくは、これから始まる地区の会議やクラブとのつながりの中で考えていきましょう。

2018-2019年度 地区事務所・ガバナー事務所 案内

URL <https://www.rid2630.jp/>

地区事務所	〒500-8212 岐阜県岐阜市日野南3丁目5-16 TEL 058-248-9724 FAX 058-248-9725 E-mail branch@rid2630.org	執務時間 9:30~17:30 (土・日・祝日 休務)
ガバナー事務所	〒502-0817 岐阜県岐阜市長良福光2695-2 岐阜都ホテル3階 TEL 058-210-2630 FAX 058-210-2631 E-mail 1819@rid2630.org	執務時間 10:00~15:00 (土・日・祝日 休務)